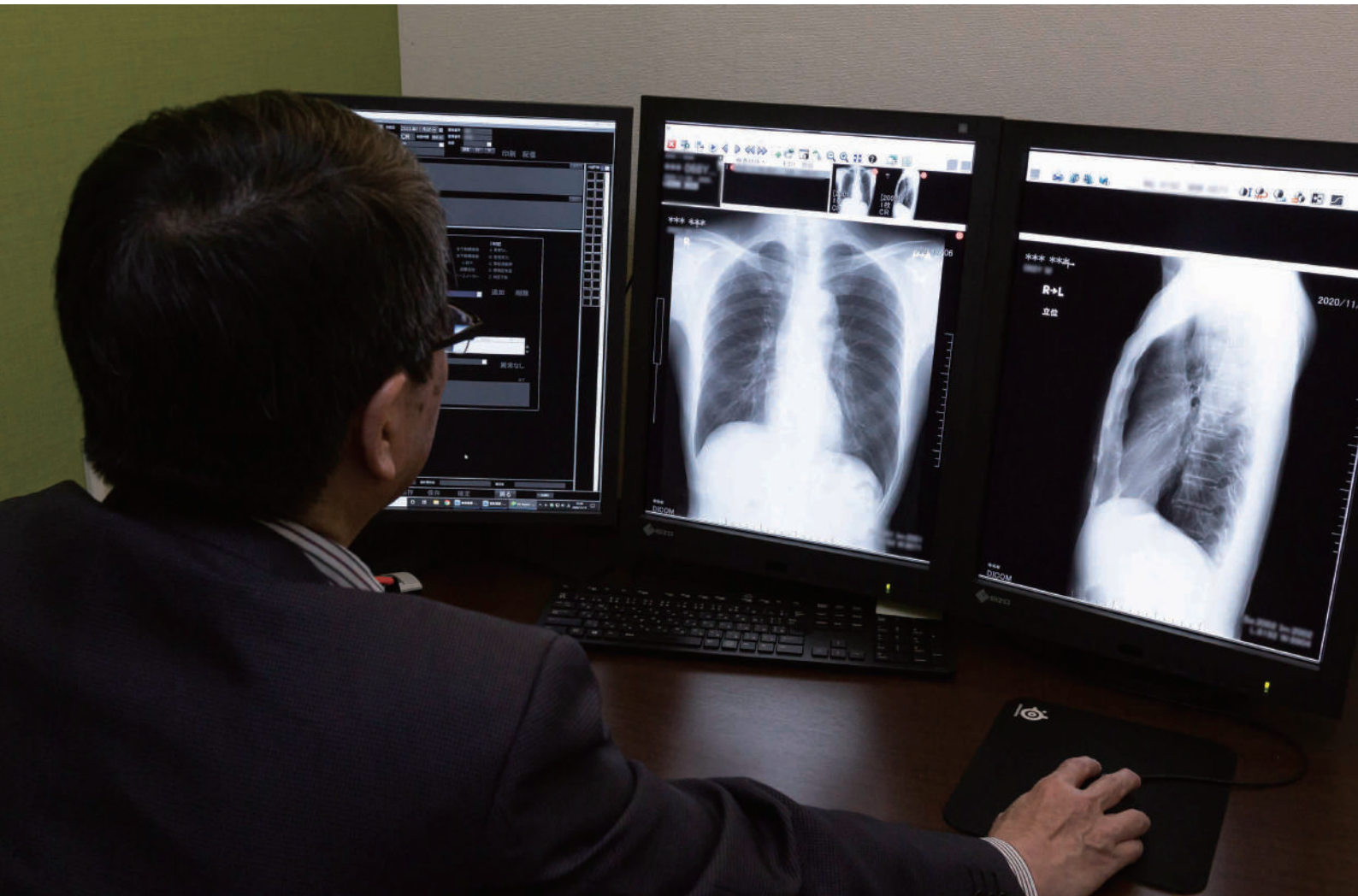


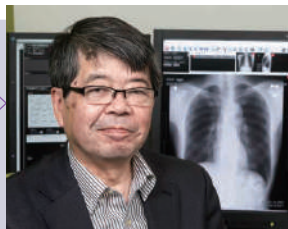
がん検診診断の診断医不足解消と 精度向上を図る効率的 IT システム開発

本事業にて、がん検診診断業務の各工程をペーパーレス化・自動化し、業務全体を標準化・効率化する「がん検診診断管理システム」を開発した。この IT システムにより、診断の速度・精度の向上、業務全体の一元管理による効率化を実現した。

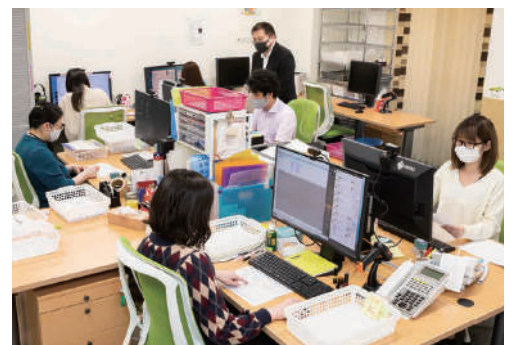


成功のポイント

放射線科医の仕事は、あまり一般的には知られていないと思いますが、CT や MRI の撮影方法を指示したり、撮影された画像を見て診断し、結果報告するなど、現在の医療において、治療方針を決めるための大変重要な役割を担っています。画像診断には知識だけでなく豊富な経験も必要とされるため、こうした技量を持ったトップレベルの医師の力を、誰もが、全国どこにいても享受できるように、これからも邁進していきたいです。



代表取締役 煎本 正博



オフィス内。テレワークも取り入れている

企業名

株式会社イリモトメディカル

住所

〒112-0003 東京都文京区春日1-11-14
SG春日ビル5階

電話番号

03-3814-0478

URL

https://irimoto.com

代表者

煎本 正博

資本金

300万円

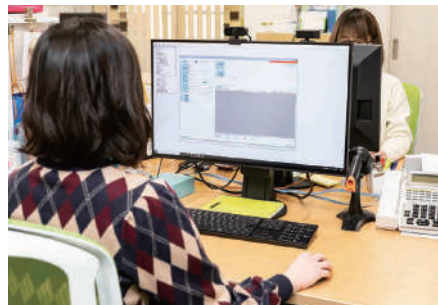
従業員数

13人

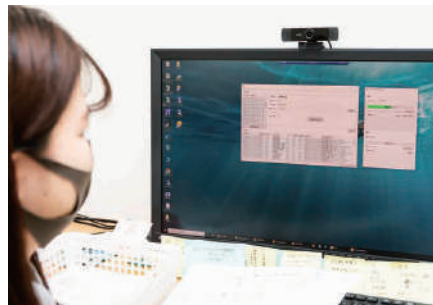
企業紹介

平成13年に創業し、平成15年に法人化した。創業者の煎本氏は、大学病院にて放射線診断の専門医として多くの診断に携わった。そこで培った診断技術と経験を、更に広く世の中に役立てたいという思いから、全国のがん検診診断を専門に受託する事業として設立した。

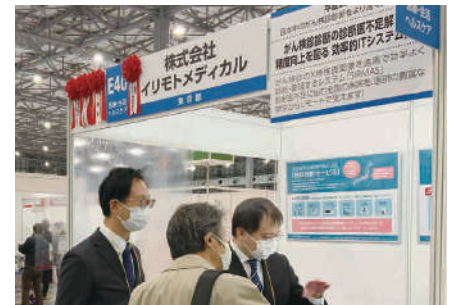
医療機関でがん検診を受診すると、胸部・胃・乳房などのX線写真が撮影され、それらの画像が郵送やオンラインによって当社に送付される。その後、当社に登録している専門医が、がんの有無や状態を診断し、診断結果はそれぞれの医療機関に返送され、受診者のもとに届く仕組みである。



診断業務管理システム



画像処理システムも操作は簡単



展示会でも注目を集めた革新的サービス

課題と取組みの内容

早期発見を目的とした全国のがん検診の需要が増加し、日本各地の医療機関にはX線検査装置の普及が進められているが、高度な専門性が必要とされるがん診断ができる専門医は不足している。そこで、インターネットを用い、各地の医療機関で撮影されたがん検診画像を、専門医が豊富な都市部に集めて一括診断を行う、遠隔診断の体制を整えるためのシステム構築を行った。

具体的には、多様ながん検診診断依頼に対応可能な診断結果入力システム・診断業務管理システム・画像処理システムの開発を行った。

導入成果

診断結果の記入用紙は医療機関ごとにフォームが異なり、病名に付された管理番号も異なるなど、従来は医師の書類作成作業の負荷が高かった。今回、診断業務管理システムを開発したことにより、医師は診断端末上の標準フォーマットに診断結果を入力するだけになった。この入力されたデータは、システムによって自動で各医療機関の報告書書式に変換されるので、記入ミスが減少し作業効率が改善した。また、依頼情報と送付されてきた画像データをタグ付けし、一元管理するための画像処理システムを開発したことにより、データ連携が進み、大幅な利便性の向上に繋がった。

今後の展望

今回のシステム開発により、作業効率が大幅に改善し、依頼件数を大幅に増やせる見通しが立ち、現在、医療過疎地などへのフォロー拡充に取り組んでいる。

がん検診では、要精密検査なのか異常がないのかの診断を的確に下せることが大変重要となる。当社が位置する文京区には高度な医療従事者も多く、そうした優秀な資源を有効に活用していくことにより、日本全国の医療体制の拡充に寄与していく予定である。